

「黒石市立小・中学校適正配置の方針」に関する地域住民の意見等

協議会名	協議内容	その他（意見等）
東地区 連絡協議会	統合時期、組合せ、使用校舎とも方針通りでよい	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が増加するために懸念される次の点をご検討ください。 <ul style="list-style-type: none"> ① 校周辺道路の拡張（交通量の増加が予想されるため） ② 冬期における周辺道路の除排雪の徹底 ③ 児童館の対応の適正化 ・浅瀬石方面からの通学道路の新設 浅瀬石方面からの通学には現在の道路では大変遠回りになるため、通学路としての適切な道路の新設が必要に思われます。
牡丹平地区 社会教育推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は、統合そのものに反対である。しかし、将来的に統合を考えるなら、環境整備を具体的に細部まで詰めた説明のうえ、29年度以降東英小学校を加えた5校同時の統合を望む。 ・中学校は、六郷中学校を加えて29年度以降3校同時の統合を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「黒石市立小・中学校適正配置の方針」に関する地域住民の取りまとめはあらかじめ合併ありきの記載となっており反対の表記が無いことから、各設問の意見・理由のみ記入とする。 ・5月の地区説明会以降、統合に向けた環境整備（送迎バス、給食、児童館等の放課後対策など）の具体的な進歩もみられないので検討そのものできない。 ・統合時期にこだわらず、まずは環境整備を具体的に詰めた資料を提示してから統合に向けた話し合いをして欲しい。
浅瀬石地区 振興協議会		<ul style="list-style-type: none"> ・伝統ある相撲大会や灯籠流しは、小学校との密接な関わりのもとに維持継続されている。小学校がなくなると、実施そのものが危ぶまれる。 ・栗山遠足や老人クラブの田植え指導など、地域に根づいた学校行事が継続できなくなる。栗山遠足で採れた栗は一人暮らしの高齢者に毎年プレゼントされ、とても喜ばれている。 ・統合に伴う校舎、校庭の活用「公民館の移設（新築又は旧校舎の改築）、地域コミュニティセンターとして活用。これまでの町内諸行事、～運動会・収穫感謝祭・文化祭等が統廃合後も開催可能に。いの場としてのグラウンドゴルフ場・児童館の併設等公園として整備」し、「浅瀬石中・浅瀬石小立～統廃合の記念碑の建立」をしてほしい。（「」内は原文まま） ・適正配置を理由に学校給食の実施を遅らせるのは理不尽。1年遅れれば、給食を経験できない子

<p>浅瀬石地区 振興協議会</p>		<p>どもがその分増える。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 黒石東に統合する場合、通学バスは、距離や学年にかかわらず現在の学区ごとに、全員に必要。・ 歩道と車道は、柵などで完全に分離してほしい。・ むしろ冬期は、中学校への通学バスも必要。雪の中、片道3kmの道程を1時間以上かけて徒歩で通っている生徒もいる。中学生ならまだしも、小学生にはあまりにも過酷。・ 現状では（特に冬場は）、中学生でも保護者が学校まで送り迎えをするのが当然となっており、送迎の車が列を成している。黒石東に統合された場合、これに小学生を乗せた車が数十台加わり、大混雑が予想される。・ 黒石東小の周辺は一方通行や幅の狭い道が多く、不便。昨年の積雪時には、車のすれ違いができずに何度も渋滞が起きている。・ 真冬の通学時間帯に、行政の担当者が実際に通学路を歩いてみる必要があると思う。・ 追子野木と統合しても、数年後にはまた統合の話が出るくらいなら、最初から黒石東に統合したほうがよい。・ 黒石東小学校への通学路の途中には、狭くて見通しが悪く急な坂（長崎の坂）が中心にあり、浅瀬石の大部分や追子野木一部から通う子どもはその場所を通ることになるが、安全面で大きな不安がある。・ 大きく迂回して危険箇所を通過する現在の道路とは別に、浅瀬石川を横断する通学路の橋を早期に建設してほしい（市への要望提言）。・ 追子野木との2校による統合（26年度288人、29年度268人）が妥当という意見の理由。<ol style="list-style-type: none">① 行政案の4校による統合（26年度675人、29年度594人。市全体の41%）では規模が大きすぎる。② 2校での統合が検討されている六郷・上十川（26年度221人、29年度181人）より児童数が多い。③ 黒石東と牡丹平の2校による統合（26年度387人、29年度326人）でも市全体の22～23%に達する。④ 中学校区で統合した場合、進学がエスカレーター式になり、新たな交流が生まれにくい（社会
------------------------	--	--

<p>浅瀬石地区 振興協議会</p>		<p>性)。 ⑤ 600人規模の児童数で、子ども一人ひとりに目が行き届くのか疑問。 ⑥ 民生児童委員も両地区で1組織。 ⑦ 上述の長崎の坂を通らないため、通学の負担が少ない。</p>
<p>追子野木地区 連絡協議会</p>	<p>小学校の統合には反対である。 ◆提案 追子野木小学校・浅瀬石小学校は、平成28年度をめぐりに統合し、校舎は追子野木小学校を使用する。 ◆理由 ・資料によれば、平成28年度六郷・上十川の児童は120+74で合計194名である。にもかかわらず、「地域性を重視するとともに複式学級の回避が目的だ」と説明している。その上、「数合わせはしない」と強調しているが、その意味は不明である。 ・資料では、平成28年度、追子野木・浅瀬石の児童数は189+79で合計268名である。 ・児童数が194名で地域性を重視され、児童数が268名で地域性を軽視される、その整合性がわからない。 ・追子野木地区は今後若い人たちの転入が予測され、生徒の増が見込まれていること。 ・追子野木小学校は給食設備がされている、食堂も整備されて、学校独自の食育活動が可能であること。</p>	

<p>山形地区住 みよい環境 推進協議会</p>		<p>◎統合に反対</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の学校、歴史や文化・伝統を共有してきた中学校を守っていききたい。・地域の将来を考えると若い人の職場もなく、学区の統合により定住性がますます阻害されることから反対である。・東英中学校、絶対存続。山形地区から東英中学校を無くしたくない。・とにかく26年度は早すぎる。・中学校の統合により、小学校への影響も出ることが懸念される。それは、先々統合するのであれば、学区の大きなところへ越境入学することが考えられる。・耐震工事を行っているのに、統合するのは無駄ではないのか。・通学の問題や、その他のいろいろな問題があるので、今のままで良い。・通学に時間がかかることから。学校に近いことが一番。・通学が大変だということと、勉強面では少人数がメリットになっていると思う。・もっと時間をかけて、双方が納得した決め方をした方がいい。・生徒の人数は少ないが、統合しなくてはいけないほどの人数ではないと思う。一学級でもいいのではないか。・部活や勉強面の環境が変わることで子ども達の負担が増えるので。・部活の問題で、少人数で団体競技が難しいというだけで、早期統合というのは納得いかない。・黒中に統合するとあまりのマンモス校になってしまい、先生の目が生徒に届かないため、勉強、精神面、いじめ等が心配。・かつて東英学区は、小中一緒の建物であった。県内でも見られるように、小中一貫校の考え方もあるのではないかと研究の必要性を感じる。・統合によるメリット、デメリットはいろいろあると思いますが、大人の事情ではなく、子ども優先で考えてほしい。・教育委員会の本心が解らず、本当に子ども達のことと統合を考えているのか、他に違うことで統合を考えているのではないかと？・山形地区の子ども達及び保護者にばかり負担が増えて、不公平だと思う。
----------------------------------	--	--

<p>山形地区住 みよい環境 推進協議会</p>		<p>◎統合に賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正配置説明会においては、事前のマスコミ報道等により、統合ありきでの説明という観点から、特に該当すると思われる年代の保護者が積極的な意見を出していたが、本心は、時期尚早であり統合先の学校の状況を把握したうえで統合に踏み切りたい。 ・統合するにしても、学年途中からの統合には反対である。 ・遅かれ早かれ免れない現状だと思う。ただ途中からの編入ではなく、卒業生を持つ親としては、卒業と同時に統合先に入学を希望します。 ・統合は部活動もいろいろ選べて、高校進学に有利で、団体生活を知るには良いと思う。 ・統合のデメリットもあると思うが、狭い世界で中学生を送るよりも、たくさんの人との関わりを持てる方が子どもの成長にもなると思う。 ・東英中学校老朽化を考えると子ども達の安全が一番なので、統合した方がいい。 ・具体的な計画がないのであれば、26年度の統合には納得いくものではない。 ・二年後に統合なのであれば、はっきりとした説明を今年中にしてほしい。 ・統合に向けての通学路の安全面、通学の方法、統合の受け入れ態勢などが見えない。 ・スクールバスが充実してくれれば登下校にも問題なく、統合は子ども達にとってもいいことだと思うから。 ・統合するなら、生徒の制服やかばん類等は新たに購入しなければいけないのかなのか？そういった具体的な話をきちんとしてほしい。 <p>◎まとめ</p> <p>以上の意見のように、地域としての集約はできなかったが、条件整備をして具体的な部分を提示できたら方向性先が見えると思う。</p>
<p>上十川地区 振興協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統合時期はこのままでよい。 生徒数減少の現実から必要不可欠なものと言える。しかし、複式解消などの対策とした統 	<ul style="list-style-type: none"> ・本地区では、6月中1カ月間でアンケート調査を行い意見等の情報収集をした。 ・この意見書を作成にあたり、アンケート内容を考慮し自治会・組織の長と協議した。 ・その他の意見として、中学校2校でなく3校で新たな学区編成するのも考えられる。

<p>上十川地区 振興協議会</p>	<p>合も同一時期でないと格差を感じる。よって、統合はすべての小学校を同一時期で行っていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校の組合せはこのままでよい。 答申や説明会において、自治会による対応を弾力的に扱うと説明されたが、小学校区はコミュニティエリアとして強い絆で構成されており、本地区では自治会と連携し現学区全体での統合を強く要望する。・ 小学校の使用校舎は変えて欲しい。 早期に中学校統合が行われ、答申で出された内容より六郷中学校施設を利用した小学校統合が強く望ましいといえる。また、その施設の利用が困難な場合は、通学距離などを考慮し黒石東小学校施設への統合を望む。・ 中学校の統合時期はこのままでよい。 生徒数減少の現実から必要不可欠なものと言える。しかし、早期な統合となることから、地域住民及び保護者が何事も初めての事となり、行政によるあらゆる面に対するバックアップや対策を行っていただきたい。・ 中学校の組合せは変えて欲しい。 現学区は、2小学校区からの構成学区となっており、他中学校もいろいろな方法をとって学区が編成しており、使用する施設に通学等を考慮し適した新たな適正学区を編成していた	<ul style="list-style-type: none">・ 答申内容は、現在の施設場所でなく以前の施設場所での考えで作成されたのも見える。・ 制服の問題として、統合は行政の考えで行われたもので関わった児童・保護者へは、全額補助すべきと考える。・ 通学問題として、先に送迎対応や通学路の整備ビジョンを掲げて説明が必要。・ 今の統合適正配置の情報で平成 25 年度より自由に他学校へ入学するなどが危惧され、統合問題より重要課題となる可能性が大きい。・ メディア等情報の取り扱いでは、内容が付加され情報錯乱しています。正しい情報を随時発信してほしい。
------------------------	--	--

<p>上十川地区 振興協議会</p>	<p>だきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の使用校舎は変えて欲しい。 <p>答申で出された中郷中学校施設利用について、通学等の不便が強く感じられ、上十川地区として同意出来ない。その事から、黒石中学校施設利用の配置を強く望む。</p>	
<p>六郷地区 振興協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統合時期はこのままでよい。 <p>六郷小学校においては、平成 28 年度から児童が極端に減少することから、方針時期に統合し、複式学級を避けたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の組合せはこのままでよい。 <p>地域の過疎化を避けるためにも、六郷・上十川地域内に小学校は必要。統合しても一学年一クラスという歯がゆるさはあるが、地区コミュニティ存続のためにも、望ましい組合せではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の使用校舎はこのままでよい。 <p>校舎の新しさ、給食設備の完備、学校周辺環境から見ても、統合後の校舎にふさわしいが、六郷地区以外からの通学にはスクールバスは必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の統合時期はこのままでよい。 <p>通学路の早期設備とスクールバスの配備については今後の検討課題であるが、方針時期の統合が生徒にとって、社会性や協調性を育む教育環境を保つのに無難な時期と思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どこと統合になっても、距離の問題だけでなく安全面も含めて、スクールバスを出して欲しい。 ・統合後の学校に二種類の制服等があるのはいじめに発展する可能性がある。入学時点で統合先は確定しておき、統合後の制服等を購入できるよう配慮して欲しい。 ・統合後、「統合前の制服でOK」としても、必ず金銭的な負担がでるような気がするので、負担が極力ないようにして欲しい。 ・統合した場合、統合前の学校の先生が必ず統合後の学校に残り、児童・生徒のケアをして欲しい。 ・統合しても一学年一学級では、教員数が半数になるということであり、教育の質が落ちるのではないか。 ・小・中学校とも、市内一校という案は止めて欲しい。切磋琢磨できない。 ・この方針は市長や教育部長が変われば、変わってしまうのではないか。 ・過疎化が生じないよう、十分考慮した統合であって欲しい。 ・六郷小学校の自校式給食を統合後も続けて欲しい。 ・一学級あたりの児童の上限数を変えて、二学級作れるようにしてはどうか。 ・通学路の整備をして欲しい。小・中ともスクールバスを十分に考えて欲しい。 ・統合直後に受験を迎える生徒に対し、受験に影響のない対応をして欲しい。 ・りんごクラブ（放課後児童クラブ）を残して欲しい。

<p>六郷地区 振興協議会</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 中学校の組合せはこのままでよい。 地域住民意見として統合を希望する学校が、中郷中・黒石中半々である。中郷中までの交通状況が黒石中までより雑多であり、その点において黒石中を望む声があるが、これを統合の課題として、通学路やスクールバスを整備していただければ問題ないと思われる。・ 中学校の使用校舎はこのままでよい。 平成 27 年度を統合時期とすれば、現校舎の利用が妥当。ただし、今後建て替えをする際には、所在場所の見直し等の検討をして欲しい。現校舎利用には、スクールバスの配備をお願いしたい。	
<p>中部地区振 興協議会</p>		<p>◆ 寿町 小学校の統合時期 このままでよい→5 どちらとも言えない→5</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子供の数が減って行く状況では、統合もしかたがないのではないかと思う。子供の数が少ないのに教職員の数が多いのは合理的ではない。・ 統合になると、通学が大変になる子もいるので、出来ればこのままの方が良い。卒業生も、昔の思い出がなくなる人もいるので。・ (どちらとも言えない) 各地区協議会との合意を得て、時期を決めて欲しい。・ この程度の期間での移行で良いのでは。・ (どちらとも言えない) 何のためにこのような順序付けをしたのか、教育委員会の意図が分からないため。・ 統合の目的が、将来に渡って子供が生きる力を培うことができる教育環境を整えることが、統合

<p>中部地区振興協議会</p>		<p>により、この目的が達するとは思えない。通学問題、地域教育を考えると、小学校は統合の必要はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（このままで良い）統合時期については、「適正委」の方針でよいと思う。 <p>小学校の組合せ</p> <p>このままで良い→4</p> <p>どちらとも言えない→7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（このままで良い）現在の中郷中学校区であるから。 ・（このままで良い）地域性から見ても妥当。 ・（どちらとも言えない）通学はどうするのか？伝統ある校歌はどちらを採用するのか？ ・（どちらとも言えない）立地条件、通学条件などの諸問題をクリア出来る側に。 ・（どちらとも言えない）全市内の現在の学校事情（生徒数、通学事情、地域事情など）が分からないので一般市民には、この設問は難しい。これは地域団体の意見を充分重視して協議検討すべきだ。 <p>小学校の使用校舎</p> <p>このままで良い→2</p> <p>変えて欲しい→2</p> <p>どちらとも言えない→5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（変えて欲しい）老朽化しているので将来的に変えて欲しい。 ・校舎のキャパと児童・生徒の数が合致するかわからないので何とも言えない。 ・（変えて欲しい）グラウンドや駐車場（前提の）スペース不足。また、中郷小学校の校舎が決して新しくないから→別な場所への新築。 <p>中学校の統合時期</p> <p>このままで良い→3</p> <p>変えて欲しい→1</p> <p>どちらとも言えない→7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この程度の期間での移行で良いのでは。
------------------	--	---

<p>中部地区振興協議会</p>		<ul style="list-style-type: none">・ 小学校の統合と同じで仕方がないと思う。・ (どちらとも言えない) 各地区協議会との合意を得て、時期を決めて欲しい。・ 統合になると、通学が大変になる子もいるので、出来ればこのままの方が良い。卒業生も、昔の思い出がなくなる人もいるので。・ (どちらとも言えない) 何のためにこのような順序付けをしたのか、教育委員会の意図が分からないため。・ (どちらとも言えない) 小学校は 28～29 年、中学校は 26～27 年をめどに統合とのことだが、統合時期によってどんなメリット、デメリットがあるのか、イメージがわからない。「適正委」の方針で良いと思う。 <p>中学校の組合せ</p> <ul style="list-style-type: none">このままで良い→4どちらとも言えない→6 <ul style="list-style-type: none">・ (このままで良い) 中学校を 2 校に統合するのであれば、この組み合わせしかないと思う。・ 東英中学校を黒石中学校と統合。・ (どちらとも言えない) 立地条件、通学条件などの諸問題をクリア出来る側に。 <p>中学校の使用校舎</p> <ul style="list-style-type: none">このままで良い→4どちらとも言えない→5 <ul style="list-style-type: none">・ 校舎のキャパと児童・生徒の数が合致するのか分からないので何とも言えない。・ 「小」も「中」も、学校の規模、児童生徒の登下校距離(スクールバスになるのだろうが)、地域の要望などを踏まえ、度を越えた地域の利害意識に捕らわれずに決めたいものである。 <p>その他</p> <p>一地区協議会に一小学校というこれまでの立場を、行政はどのように考えているのか。生徒数があまりにも少ないと、共に学ぶということにはならないのでは?ある程度的人数がいる限りは、将来性を考慮に入れて廃校にすべきではないと考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子供の数が減少する中で、教職員の数も適正化することは必要だと思う。使用されなくなった校
------------------	--	--

<p>中部地区振興協議会</p>		<p>舎は、地域の中で使用方法を考えればと思うが、維持費とかはどうするのか問題。学校が遠くに変わる地域はスクールバス等で子供・親の負担を減らさなければならないと思う。最後に、統合が単なる合理化のために行われるのではなく、子供たちの学力向上につながるように希望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの通学路の安全面への配慮が必要である。また、地域コミュニティが今まで以上に衰退することがないように、公民館などを中心とした社会教育に関する取り組みを官民一体で考えていかなければいけない。 ・（こめ田さ水）でなくて、この方法が良いのであれば従う。黒石の未来を見ている子供たちのことをいろいろ考えてのことと思います。議員に惑わされず、財政のこと、耐震のこと、学校の跡地を、ただ売却するのではなく、安く利用してもらうようにしてもらいたい。 ・統合によるメリット、デメリット（行政側、子供側）の意見が出尽くしていない。もっと議論が必要と思う。国の財政の問題と教育の問題は別問題である。もっと教育に金を投資すべきである。ムダな支出を削減するのが先決である（県も国も）。 ・統合により、遠距離通学となる生徒への対策は？使用校舎の耐久性・耐震性・防火等の対策。統合による生徒の生活環境変化に対する指導は？ ・空校舎の利用については、何か案はあるのか。 ・使用されなくなった校舎の利活用は、統合問題の範囲外かも知れないが、地域の特性を活かせるように積極的に推し進めてほしい。 <p>◆ 北田中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中とも統合反対 ・小学生の通学手段は何なのか。 ・部活動で遅く帰宅せざるを得ない生徒はどうするのか <p>◆ 北美町2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校10校から4校、中学校を4校から2校で賛成。 今後は各統合対象校地域で組織を設置し協議する。 <p>◆ 北美町第一町内会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統合時期はこのままでよい。
------------------	--	---

<p>中部地区振興協議会</p>		<p>北美町住民としてはこのままでよい。耐震に問題がなければ時期は関係ないと思います。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校の組合せ、使用校舎はこのままでよい。 <p>中郷小学校に関しては耐震及び教室数の問題がなければこのままで良いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 中学校の統合時期、統合の組合せ及び使用校舎はこのままでよい。 <p>中郷中学校は校舎も新しいのでこのままで良いと思います。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 北美町住民の意見としては、中郷小学校も中郷中学校も立地条件も良く時期、統合の組み合わせ校名もこのままで良いという意見が大半でした。 <p>◆ 吉乃町</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校の統合時期はこのままでよい。 <p>受け入れる中郷学区（吉乃町）としては統合には問題無いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校の組合せはこのままでよい。 <p>中郷小学校・黒石小学校・北陽小学校の組み合わせで良いと思うが、黒石小学校や北陽小学校で、遠い地区から通う児童の安全を確保することが出来れば、賛成である。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校の使用校舎はこのままでよい。 <p>現校舎の耐震性問題が解決されていれば賛成です。また、将来的に新校舎を考えてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 中学校の統合時期はこのままでよい。 <p>受け入れる中郷学区（吉乃町）としては統合には問題無いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 中学校の組合せはこのままでよい。 <p>中郷中学校と六郷中学校 2 校の統合で賛成である。冬場の安全通学の確保が必須である。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 中学校の使用校舎はこのままでよい。 <p>地区住民として賛成である。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 児童の減少による学校の小規模化の進行を食い止めるためには考える時期である。・ 学校が無くなる事により、地域活動がなくなり人と人の繋がりがなくなる。・ 地区の伝統や文化が衰退する。
------------------	--	--

<p>中部地区振興協議会</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域外の友だちと仲良くできるのか。 ・ 学校行事が活性化する。 ・ 社会性や協調性の育成が可能になる。 <p>◆ 昭和町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の統合時期としては、行政及び各学校の態勢が整った時点で良いと思う。少子化を考えると出来るだけ早い方が基本理念達成に良いと思う。 ・ 小学校の組合せについては、再考を願いたい。 ・ 東小（東小・牡丹平・浅瀬石・追子野木） 23年 785名、29年 594名 各学年（3～4クラス可） ・ 中小（中郷・黒石・北陽） 23年 770名、29年 569名 各学年（3～4クラス可） ・ 東英 23年 135名、29年 101名 各学年1クラスでクラス替えが出来ず ・ 六郷（六郷・上十川） 23年 278名、29年 181名 各学年1クラスでクラス替えが出来ず <p>基本理念に反すると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の使用校舎や場所（土地）は、行政の態度が整い次第、教育環境等を加味し決定願いたい。 ・ 中学校の組合せは検討された2校か又は1校か現時点ではどちらでも良いのではないか。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化に伴う教育環境を考えると統合適正配置は必然的であり早期に進めるべきと思う。 ・ 適正配置は児童の将来に対する学校教育の姿勢が第一であり、各地域の児童が公平な教育環境で公平な教育を受ける権利があると思う。その為の適正な学校配置が必要であると思う。 ・ 各地域の意見や父兄の意見は大変重要であるが大人のエゴイズムに左右されることなく進めることが大切だ。（スクールバス、給食制度、教員配置、学校運営は学校適正配置後に考え対応する） <p>※同じ年代で取り残される児童、犠牲になる生徒が出ることのない様に進めるべきと思う。</p> <p>東小学校へ東英小学校を入れ、中郷小学校へ六郷小、上十川小学校を入れ2校とすることを望む。</p>
------------------	--	--

<p>中部地区振興協議会</p>		<p>◆ 相野町内会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校の統合、組合せは現状と変化がないのでこのままでよい。・ 小学校の使用校舎はどちらともいえない。校舎が手狭にならないのか。 1学級は何人になるのかによる。・ 中学校の統合時期、組合せ及び使用校舎はこのままでよい。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学生に対してはスクールバス等の配慮はあるのか。・ 小学生は通学、勉学の面で小規模の方がよいので、小学校統合には反対。・ 校舎を整備するのであれば、同時に耐震化についても処置すべきだ。・ 通学路が変更になる小学生に対する安全処置も併行に整備する必要がある。 <p>◆ 一番町</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校の統合時期はこのままでよい。 いろいろな事情を考慮しての方針決定事項なので、「このままでよい」という意見が大半だった。 東英小学校も同時に検討されるべきだ。・ 小学校の組合せは変えて欲しい。 牡丹平小学校が平成 27 年度に黒石東小学校と統合する時、東英小学校も同時に合併するようにする。・ 小学校の使用校舎はこのままでよい。 場所的にはいいですが、中郷小学校は校舎が狭くないか。・ 中学校の統合時期はこのままでよい。 小学校の場合と同様、市教育委員会の方針と同意見だという人が多かった。・ 中学校の組合せ及び使用校舎についてはこのままでよい。 黒石中学校は生徒数に対応できるのか。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 統合による児童生徒数の急増が予想される中郷小など校舎の整備、新築など急ぐべきだ。・ 統合によって通学区域が広くなり通学困難な児童生徒が増えると思う。安全確保の為に通学路の
------------------	--	--

<p>中部地区振興協議会</p>		<p>整備、スクールバスの配備など安全対策を徹底する。</p> <p>◆ くみの木3丁目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合時期、組合せ及び使用校舎について、このままでよいとどちらとも言えないが半々位。 ・小学校の組合せについては、黒石東小学校と牡丹平小学校、浅瀬石小学校と追子野木小学校で統合して欲しい。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の現在の人数を知りたかった。(回答するに当って) ・子供がいないので現実的にはよくわからない。ただ少子化に伴って子供たちがよりよい学校生活を過ごせるよう願う。 ・当町内では、小学校、中学校に通っている世帯は5件(50世帯中)よりないので、あまり身近な問題とは考えていないと思います。また、学校自体も地元であるのでこのままで良いと考えていると思います。(無回答の方のほとんど) <p>◆ 緑ヶ丘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合時期、組合せ及び使用校舎はこのままでよい。 <p>◆ 道北町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統合時期はこのままでよい。 中郷学区(道北町)地域住民としては賛成である。 ・小学校の組合せはこのままでよい。 中郷小学校は黒石小学校や北陽小学校の地域から遠すぎることもなく通える範囲内にありこのままでよい。 ・小学校の使用校舎はこのままでよい。 中郷学区地域住民としても賛成である。将来は3校(黒石小・中郷小・北陽小)統合の新校舎を建築して欲しい。 ・中学校の統合時期、組合せはこのままでよい。 六郷中学校と中郷中学校の2校の統合であり、中郷中学校へは六郷学区から通える範囲内にあり、このままでよい。
------------------	--	--

中部地区振興協議会		<ul style="list-style-type: none">・ 中学校の使用校舎はこのままでよい。中郷中学校の場合は建築してからあまり年数は経っていないので、このままでよい。中郷学区地域住民としては賛成である。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 中郷学区（道北町）地域住民にとっては統合の時期も組み合わせにも問題はない。・ 統合によって、学校がこんなに多く減ることは黒石市にとっては勿論のこと地域にとっても大きなマイナスである。・ 過去に陸上自衛隊やIT産業を含む企業を誘致することが出来たならば、こんなに学校が減ることはなかったであろう。・ 高校を卒業すると同時に、主として関東地区に就職をし、そしてそこで結婚をし、家庭を作っている。これがこの地方の子供の数が減る原因の一つである。・ 長い間子供たちを教育してきた学校が地域から無くなることは、卒業生にとっても、極めて寂しくなる。・ 統合される前の学校の名称の一部を新学校名に取り入れことが可能ならば、そのようにしてほしい。上十川小学校は、もとは六郷小学校の分教場であり、統合には問題はないし、新校名を六郷上十川小学校とすればよい。・ 東英中学校側では、大変困っていると思う。通学する生徒はスクールバスを運行しても、部活等の問題もあり、遠距離の課題は残る。
西部地区連絡協議会		<p>適正配置の方針に基づき、西部地区連絡協議会として理事会等で検討したものの意見集約がまとまりませんでした。細目は市の意見聴取会に於いての同内容であり、新規に具体的に進展は見られませんでした。</p>

<p>北地区振興 対策協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北陽小学校と中郷中学校に関する、統合の時期、組み合わせについては反対しない。 ・使用校舎については新築移転を要望し、これを統合の条件とする。 ・適正配置に関する情報公開を求める。 	<p>統合の時期については、尚早な印象はあるが、十分に協議し納得が得られれば同意できる。組み合わせについても、北地区としてこれ以外の組み合わせの選択肢はなく問題はないと思われる。ただし使用校舎については、中郷中学校付近への新築移転を強く要望し、これがかなわない場合は統合に反対する。</p> <p>◇理由</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教委案の現中郷小学校の校舎は老朽化が激しく、教委の説明によると市内で2番目に古いとのことから、基準を満たした補強をしているとはいえ、耐震への不安がぬぐいきれないこと。 (2) 校舎、校庭が狭小で、受け入れ可能なキャパシティとしているもののギリギリのレベルであり、普段の学校生活や運動会などの行事、部活動も含め、子供たちへの負担が懸念されること。 (3) 学校周辺の道路と前庭が狭小で、スクールバスや送迎の自家用車などで混乱が予測され、徒歩通学児童も含め安全な登下校が全く保障されていない。 (4) 移転場所を中郷中学校の付近にすることにより、行事や部活動などいろいろと交流することができ、また体育館などの施設の共用も含め、小中連携校としての効果が期待できる。 <p>情報公開を求める件については説明するまでもないが、良い統合をするためには厚い信頼関係を築くことが必要である。そのためにはコミュニケーション・意思の疎通が必要不可欠であり、常に新しい情報を提供し、市民に一層の安心感を与えてほしい。</p>
------------------------	--	---